



2024年5月10日

各位

会社名 株式会社 ソケッツ  
代表者名 代表取締役社長 浦部浩司  
(コード番号:3634 東証スタンダード市場)  
問合せ先 Corporate Division General Manager 川瀬尚子  
(TEL. 03-5785-5518)

### 特別損失の計上及び通期業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

当社は、2024年3月期第4四半期において、下記のとおり特別損失を計上するとともに、2023年5月11日に公表いたしました2024年3月期(2023年4月1日~2024年3月31日)の通期業績予想と本日公表の同実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 特別損失の計上の内容

当社は、保有する投資有価証券のうち、取得価額に比べて時価が著しく下落したものについて減損処理を行う必要が生じたことにより、投資有価証券評価損20百万円を特別損失として計上いたしました。

#### 2. 2024年3月期 通期業績予想と実績値の差異(2023年4月1日~2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2023年5月11日発表)	百万円 1,100	百万円 0 ~15	百万円 0 ~15	百万円 △2 ~12	円 銭 △0.93 ~5.18
実績値(B)	1,018	△79	△78	△100	△40.88
増減額(B-A)	△81	△79 ~△94	△78 ~△93	△97 ~△112	
増減率(%)	△7.4%	—	—	—	
(参考)前期実績 (2023年3月期)	994	△30	△29	△26	△10.96

#### 3. 差異の理由

当社の既存事業、感性メタデータ活用を中心としたデータサービス・ライセンス事業に関しましては、インターネット上における音楽・映像分野のデータサービス事業や新規事業である感性ターゲティング広告サービスが伸長する一方で、一部ライセンス提供の期ずれ、海外向けデータ流通事業モデル構築の費用先行、生成系AIにも関連した新規事業への先行投資の増加、円安によるサーバーインフラ費の大幅な増加という事象がありました。

以上の結果、売上高は前回公表値に対して7.4%減少し、営業利益、経常利益も前回公表値を下回りました。また、特別損失として投資有価証券評価損20百万円を計上したこと等により当期純損失は100百万円となり、前回公表値を下回りました。

以上